

蔵とアートをめぐる

ネオ・クラシック! カクノダテ

2014年10月17日(金)-10月24日(金) 10:00-17:00

阿部由布子+レジデンスAKA-FUN

梅田哲也

華雪

クワクポリョウタ

佐藤励

藤浩志

山本太郎



『ネオ・クラシック!カクノダテ』は、"みちのくの小京都"として名高い観光地・秋田県仙北市角館町に残る歴史的建築物を舞台に、「創造の最先端と、かわらずそこにある(残したい)もの」について、現代アートのかを借りて考え、表現するイベントです。

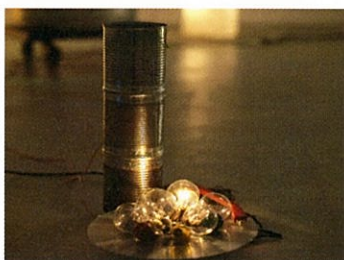
その昔、度重なる大火に見舞われた角館の人々は、次の世代のために残したい大切なものを、それぞれの時代における最先端の防火技術で造った蔵の中に納めることで、大切に守り継いできました。そのありようは、大震災後の東北に生きる我々に、"文化とはどのような時間軸と文脈のなかに捉えるべきであるか"について、多くのヒントを与えてくれます。

今年で開催4度目をむかえる『ネオ・クラシック!カクノダテ2014』は、観客に"リノベーション"の可能性を感じさせ、"気づき、考える"ことを促す作品制作に取り組んできた作家たちを招聘し、同コンセプトにもとづく滞在制作を実施いたします。歴史と伝統の息づく街・角館で、今これからの時代のために表現されたアート作品を体感してください。



阿部 由布子 + レジデンスAKA-FUN
Yuko Abe + Residence AKA-FUN

阿部由布子(アーティスト/秋田公立美術大学助教)とレジデンスAKA-FUN(秋田公立美術大学美術学部学生有志団体)によるコラボレーション。頭脳と肉体の研鑽の場として、昨年に引き続き「ネオ・クラシック!カクノダテ」に参戦。



梅田 哲也 Tetsuya Umeda

アーティスト、音楽やメディアアートなどをめたく、ジャンル横断的な作品を発表する。『Double Vision: Contemporary Art from Japan』モスクワ現代美術館/ハイファ美術館(2012年)、『ソニエリュミエール』金沢21世紀美術館(2012年)など、内外の主要美術館における展示経験多数。

©Ota Fine Arts, 2009



華雪 Kasetsu

書家。1975年京都生まれ。1992年より個展を中心に活動を続ける。刊行物に、写真家ホンマタカシ氏ディレクションによるプライベートプレスbetween the booksから「ATO 跡」(2009年)、写真集やアートブックを多く手掛ける赤々舎から「書の棲姫」(2006年)、京都新聞での連載をまとめた「石の遊び」(2003年、平凡社)などがある。



クワクボリョウタ Ryota Kuwakubo

アーティスト/情報科学芸術大学院大学[IAMAS]准教授。エレクトロニクスを使用した、独自のスタイルの現代美術作品を制作する。『あそびのつくりかた』丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(2014年)、『Mono no Aware』エルミタージュ美術館(2014年)など、内外の主要美術館における展示経験多数。

©ACAC, 2014



佐藤 励 Rei Sato

仙北市出身。彫刻家/日彫展正会員。塑像を中心に人体彫刻を制作する。『全関西美術展』彫刻部門佳作(2002年)、『秋田県美術展覧会』彫刻部門特選(2002~2005年)など。近年、個展『N.E.blood 21』リアスアーク美術館(2014年)などで注目される県出身の若手作家。



藤 浩志 Hiroshi Fuji

アーティスト/十和田市現代美術館館長/秋田公立美術大学教授。対話と地域実験という手法を用い、地域に創造的な活動を作り出す。『ジャパン・アート・スカラシップ』大賞(1992年)、『サイト・サンタフェ・ビエンナーレ』(2008年)、『Central Kaeru Station』Arts Chiyoda 3331(2012年)など、内外の主要美術館における展示経験多数。



山本 太郎 Yamamoto Taro

ニッポン画家/秋田公立美術大学准教授。「ニッポン画」なる、独自の絵画を提唱する。『VOCA2007』VOCA賞(2007年)。個展『Nippon-ga Contemporary vision of Classical Japanese art』Art Atrium(2012年)、『ジパング展II』秋田県立近代美術館(2013年)など、内外の美術館における展示経験多数。

©Taro TAMAMOTO courtesy of imura art gallery



主催：文化庁、秋田県、仙北市、仙北市教育委員会、アートdeまちあるき実行委員会、ネオ・クラシック!カクノダテ実行委員会

協力：公立大学法人秋田公立美術大学

お問い合わせ先：一般社団法人角館町観光協会 TEL：0187-54-2700

最新情報は Facebook ネオ・クラシック!カクノダテ からご確認ください